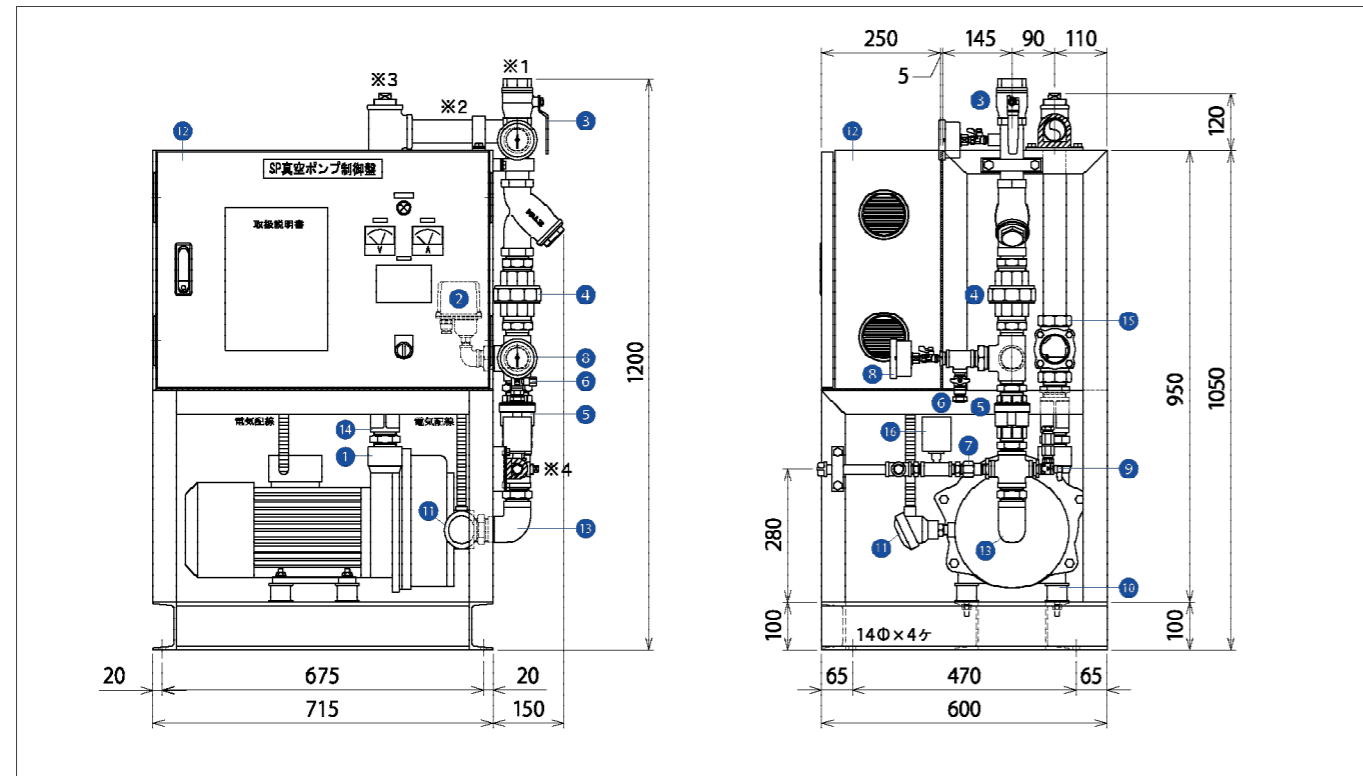


各部の名称および寸法

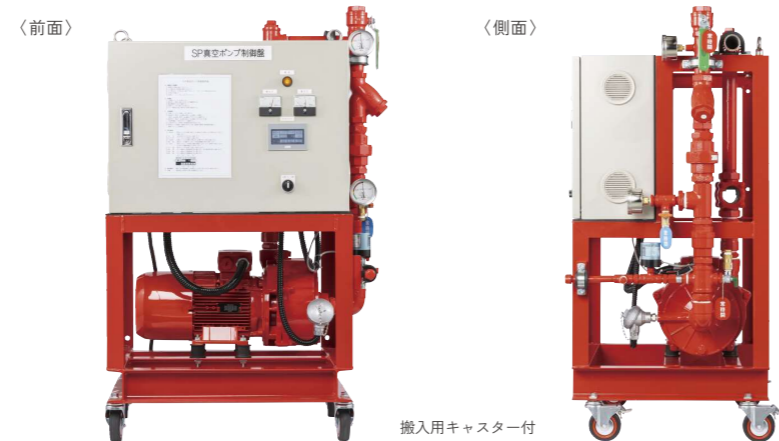


① 真空ポンプ (SCS)	⑤ VS チャッキ弁	⑨ 常時吸込弁 (開)	⑬ 絶縁エルボ
② 真空スイッチ	⑥ 真空試験弁	⑩ 防振ゴム	⑭ 絶縁ソケット
③ 真空弁	⑦ 定流量弁 (15A)	⑪ 温度センサー	⑮ サイトグラス
④ 定流量弁 (50A)	⑧ 連成計	⑫ SP 真空ポンプ制御盤	⑯ 給水電動弁

- ※ 1 スプリンクラー設備のドレイン管に接続 (接続口径 40A)
- ※ 2 排水を水槽に戻す、または排水管に接続 (接続口径 40A)
- ※ 3 ポンプ始動前に呼水 4L を注入
- ※ 4 冷却水給水管を接続 (接続口径 15A)

仕様

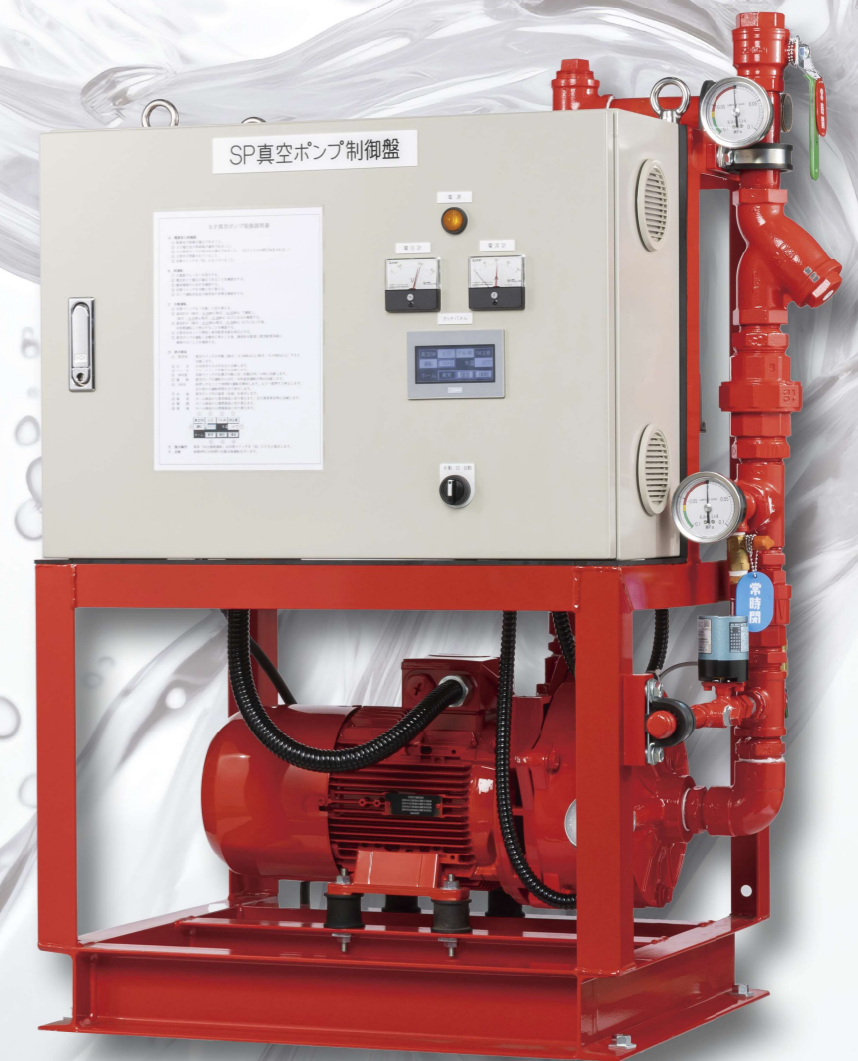
製品名	真空ポンプユニット
型式	AVP
吸気量	151m ³ /h
吸水量	110L/min
吸引圧	-0.09MPa
補給水量	8L/min 以上
電源	AC200V (400V) - 3Φ - 50/60Hz
電力	6.3 kW
重量	210 kg
冷却方式	自吸式・補給水式 兼用



真空ポンプユニット
(スプリンクラー設備用)

抜群の吸引力で
「水」と「空気」を一緒に吸い取る
画期的な真空ポンプユニット。
スプリンクラー設備の水抜き作業を
スイッチ操作ひとつで
簡単、安全に、短時間で行うことができます。

- ・異常加熱警報
- ・凍結防止機構
- ・防振機構
- ・自動点検機能
- ・固着防止機能
- ・メンテナンスフリー



地球の恵みを、社会の望みに。

AW エアウォーター防災株式会社

神戸本社・本社工場 〒651-2271 兵庫県神戸市西区高塚台 3 丁目 2 番地 16 TEL. 078-992-1400 FAX. 078-993-2076
 東京本社 〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 12 番 3 号 TEL. 03-5435-7922 FAX. 03-5435-7915
 大阪支社 〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原 2 丁目 1 番 3 号 TEL. 06-6394-9522 FAX. 06-6394-9532
 中部支社 〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田 5 丁目 5 番 15 号 TEL. 052-262-5371 FAX. 052-262-5375
 札幌営業所 〒001-0010 北海道札幌市北区北十条西 3 丁目 1 番 1 号 TEL. 011-708-2325 FAX. 011-708-2326
 仙台営業所 〒984-0031 宮城県仙台市若林区六丁目字南 97 番 3 号 TEL. 022-288-5012 FAX. 022-287-3077
 広島営業所 〒732-0814 広島県広島市南区段原南 1 丁目 3 番 53 号 TEL. 082-264-3565 FAX. 082-264-3568
 福岡営業所 〒812-0895 福岡県福岡市博多区竹下 4 丁目 7 番 27 号 TEL. 092-483-7510 FAX. 092-483-7513

*名称・形式・仕様などの記載事項は、予告なく変更されることがあります。



抜群の吸引力で、確実に「水」と「空気」を一緒に吸い取る画期的な真空ポンプユニット

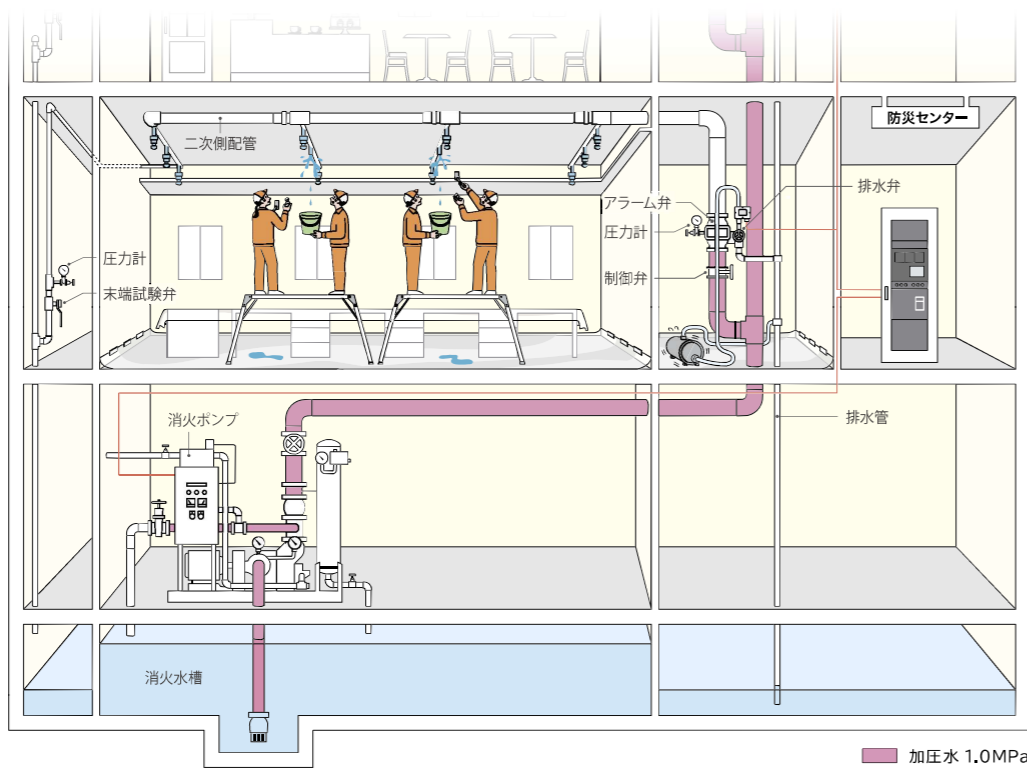


メンテナンス、リニューアル、スプリンクラーヘッド交換などの施工時に、真空ポンプユニットがあれば、スイッチ操作ひとつで簡単に短時間で、スプリンクラー配管の水抜き作業を行えます。

BEFORE

従来方式の水抜き作業例

これまで水抜きに使われていた吸引ポンプは、吸引力が弱く、ヘッドまでの枝管などに水が残るため、手作業で残水を取り除くことになり、多くの人員と時間を必要としていました。

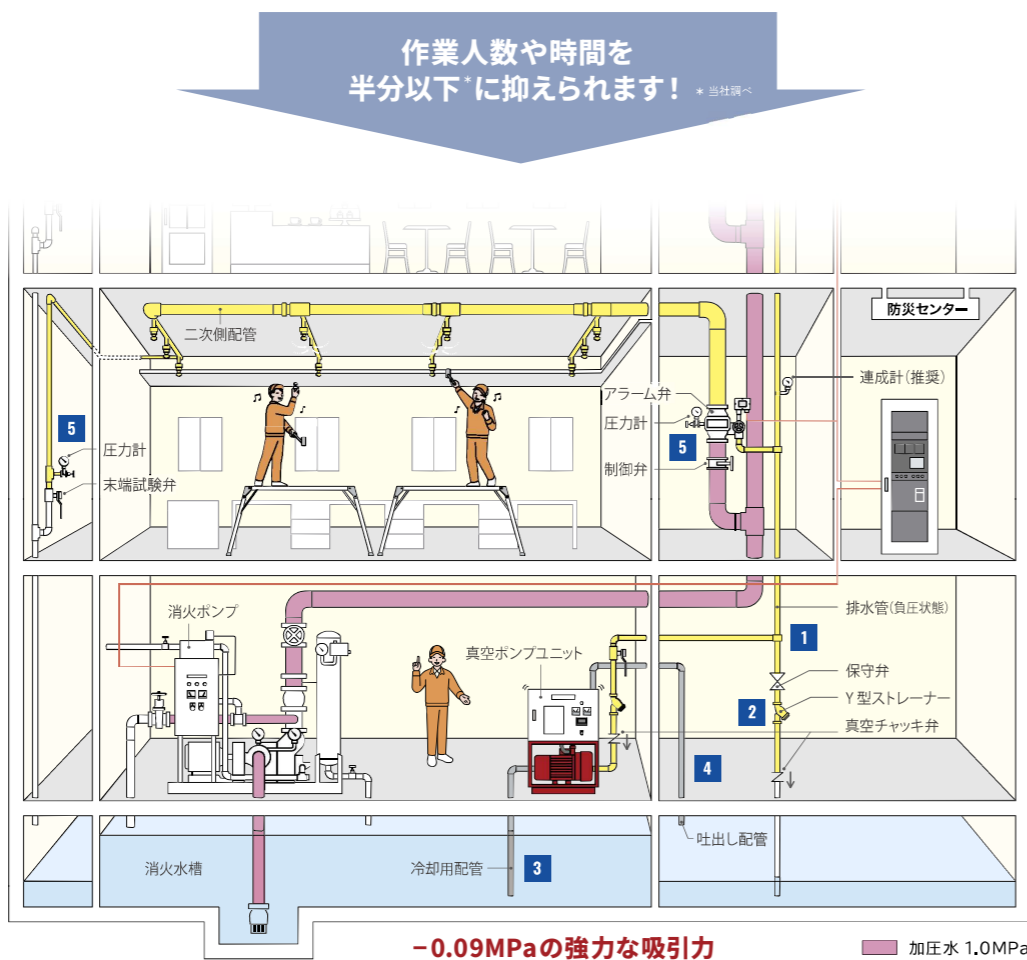


作業人数や時間を
半分に抑えられます！ *当社調べ

AFTER

真空ポンプユニット方式の水抜き作業例

真空ポンプユニットは、強力な吸引力により、スイッチ操作だけで簡単に配管の水抜き作業が終了し、枝管に残った水も、ヘッドを取り外すと外気と一緒に真空ポンプユニットが吸引しますので、大幅な人員削減と作業時間の短縮が可能です。

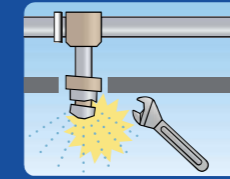


ヘッド破損時などの水損を軽減

スプリンクラーヘッド等が何らかの原因で破損した場合、従来の対処法では、制御弁を閉止して配管内部の排水作業を行います。残留空気の膨張圧や配管に勾配がとれていない等の影響により、破損箇所から大量の水が流れ出て水損被害を大きくしていました。真空ポンプユニット方式では、スイッチ操作ひとつで配管内の水と空気を強力に吸引するため、破損箇所からの漏水を速やかに停止させ、水損被害を小さくすることができます。

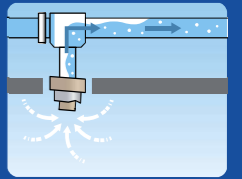
従来方式

改修工事・荷物の搬入出などの際、スプリンクラーヘッドに衝撃が加わり破損すると、放水により大量の水が流れ出て、水損被害が拡大していました。



真空ポンプユニット方式

真空ポンプユニット方式では、スイッチ操作だけで水と空気を強力に吸引するので、万が一の事故の際にも、水損被害の拡大を防ぐことができます。



設置工事が簡単。全てのスプリンクラー設備に設置可能

既存の配管はそのままの状態、排水管に真空ポンプユニットを接続するだけ。大がかりな工事は必要ありません。

- 1 真空ポンプユニットを排水管に接続
- 2 保守弁、Y型ストレーナー、真空チャッキ弁を排水管に接続
- 3 冷却用配管の施工 (15A)
- 4 吐出し配管の施工 (40A)

真空ポンプユニット設置例

設置前

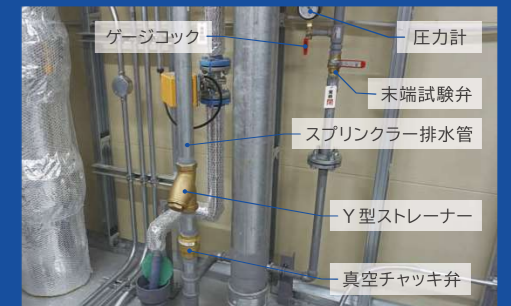


設置後



5 スプリンクラーの水抜き作業時は、アラーム弁二次側および末端試験弁のゲージコックを閉じてください

チャッキ弁設置例



水損を許さない真空スプリンクラーシステムへのリニューアル

真空ポンプユニットは、水損防止に優れた真空スプリンクラーシステムでも使用されています。将来、BCP対策等で真空スプリンクラーシステムにリニューアルする場合は真空ポンプユニットをそのまま利用することができます。

※リニューアルの際は、スプリンクラーヘッドの同時開放個数の確認が必要になりますので、注意が必要です。

どうぞお気軽にお問い合わせください！

